

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩とします。再開は、午後1時ちょうどといたします。

午前11時28分休憩

-----

午後0時59分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

報告します。上野洋次郎君から早退の届出がっております。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 皆さんこんにちは。新政会所属の春田新一でございます。本日は新政会3人という、続けて3人という一般質問になります。私が最後の質問者であります。本日の最後の質問者でございます。

9月に入って、台風第9号、第10号と立て続けに本市を直撃し、地域によっては大きな爪痕を残し、通過をいたしました。今回の台風で被害に遭われた皆さんへ、この場を借りましてお見舞いを申し上げます。

また、台風第10号の接近情報により、早めに市内52か所の避難所が開設をされたというふうに報告がなされております。今回の台風避難所の開設において、いろいろな問題等、浮き彫りとなった課題を踏まえられて、次の運営体制に生かされるよう期待をしておきます。また、過去に、「災害は忘れた頃にやってくる」というふうに言われておりましたが、最近の災害は忘れる暇もなく連続して発生をするような気がいたします。

それでは、通告しておりました市政一般について、2項目5点について質問をいたします。

まず、1項目め、市民協働の取組について。1点目、地域マネージャー制度の事業と今後の進め方についてお伺いをいたします。

この制度は、本市が掲げている市民協働のまちづくりの中核に位置づけられているが、制度制定以来13年を迎えようとしています。制度が円滑に運用され、地域の活性化につながっている校区、また、つながっていない校区があるように感じられます。このことについては、市長も感じてあるというふうに思います。市民主体のまちづくりを推進し、目指すべき将来像に向かって進めなければいけないというふうに思います。このマネージャー制度の事業を振り返り、新たな課題を踏まえた上で、市民の皆さんの思いや誇りをしっかり反映させるとともに、市民と行政が一つになって島のあるべき姿を共有し、それに向かって取り組んでいく、これが本当の市民協働だというふうに思っております。

また、この事業の成果が上がらなければ、市長の2期目の拡大戦略、豊かな島へのビクトリーロードには程遠いと考えます。また、本市が目指す「自立と循環の宝の島 つしま」はでき上らないのではないかというふうにも考えます。全体的な御見解を伺います。

次に2点目です。この1点目の事業を踏まえた安心安全の地域づくりに生かしていかなければというふうに思います。この地域マネージャー事業が、結果として地域の活性化につながっている校区と、あまり活用がなされていない校区との地域格差が生じているようにあります。また、地域によっては、高齢化や過疎化が進み、地域づくりもままならない実情であると考えます。今後どのように組み立て、地域を活性化させていくのかお尋ねをいたします。

次に、2項目めです。教育行政についてということでお尋ねをいたします。

まず1点目、対馬市立比田勝こども園、この中の施設の安全安心策はということで質問いたします。御存じのように、この施設は、本市では初となる幼稚園1園と保育園2園を統合して、平成27年に建設工事が始まり、28年度完成をし、幼稚園については28年度後期から運営をされているというふうに思います。29年4月に全体開園がされています。最近の豪雨、台風の後には、山側ののり面から土砂が園庭や出入口等に流入し、そのたびに保護者、職員、近隣の皆さんが協力をし合っけて土砂の片づけや清掃をされている現状であります。道路排水については、対馬振興局の事業で排水溝の設置工事が予定されていると聞き及んでいます。道路部分、駐車場については対処できるんじゃないかなというふうに思いますが、建物周りの園庭についての対策は何か考えてあるのかお伺いをいたします。

次、2項目め、全島社会体育施設の利用状況について。社会体育施設を全島で見ると、体育館が10施設、プールが2施設、総合運動公園が12施設、生涯学習課管理で運営をされていると思います。こどもから高齢者まで幅広く利用されており、生涯学習にとっては、なくてはならない施設であると考えます。今後、町単位の利用を精査されて利活用の促進に努めていただきたい。今後の利活用と運営管理についてお伺いをいたします。

次、3点目です。2点目の利用状況を踏まえて、改善、あるいは改修の基本的な考え方、また全島社会教育施設が老朽化をしていく中で、改修、あるいは修繕の中長期的計画は作成されているかお伺いをいたします。

以上2項目、5点について質問をいたします。よろしく願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 春田議員の質問にお答えいたします。

初めに、市民協働型まちづくりを目指した取組についてでございますが、地域マネージャー制度は、平成21年4月から地域にお住まいの皆さんと地域担当職員が生活に身近な課題の解決や地域のあるべき姿などについて話し合い、行動する制度として実施しており、現在は25小学校校区、181の行政区に職員366人を地域マネージャーとして配置し、地域と市役所を結ぶかけ橋的役割も担いながら取り組んでいるところであります。

これまでの地域マネージャー制度における取組については、各地域での活動に対するサポート

はもちろん、地域の将来に向けた地域づくり計画の策定や第2次総合計画策定における地域の方向性を示した地域づくり行動宣言の策定など、地域の活性化に向けて取組を進めてきたところであり、一定の役割を担ってきたのではないかと考えております。

そのような中で、地域マネージャー制度の今後の方向性については、止まらない人口減少、増加傾向の高齢化など地域を取り巻く環境は一層厳しくなってくるものと思われまます。今後の地域の活性化、または持続的な存続に向けて、この地域マネージャー制度は継続していく必要があると考えており、課題を整理した中で発展的な施策の継続を実施してまいりたいと考えております。

その中で、議員御指摘のとおり、地域マネージャー制度の取組が活発な地域とそうでない地域が存在しているのは事実であります。これは、地域の実情や配置する職員の経験値や技量の違いなど様々な課題があるものと感じております。この点につきましては、原点に立ち返り、課題の抽出による対応策の検討を行いながら、全ての地域とともに取り組んでまいりたいと考えております。

対馬市を取り巻く環境は、異常気象による災害対応、高齢者対策や空き家対策、SDGsの達成に向けた取組推進など、地域と一緒に取り組むべき問題も多くございます。各分野の施策や課題対応とこの地域マネージャー制度が関連し、誰もが住みやすいまちづくり、SDGsの目標である誰一人残さない持続的な社会、地域の実現に向けて取組を進めてまいりる所存であります。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 春田議員の質問にお答えします。

教育行政について、まず、比田勝こども園施設の安全安心策でございますが、比田勝こども園の大雨等による被害状況は、平成28年から本年度まで5回の大雨による裏山からの土砂流入及び浸水により園舎園庭に被害が出たため、修繕料により土砂の撤去、大型土のうを設置するなど対策を行ってきております。しかし、毎年のように大雨の影響による土砂の園庭への流れ込み等の被害が発生している状況です。そのたびに業者へ依頼しての土砂除去を行ったり、職員をはじめ保護者や近隣住民の協力による清掃等が行われており、感謝をしているところです。

大雨等による山からの土砂の流出を軽減するため、大型土のうを山裾に設置しており、ある程度の土砂は防止できておりますが、細かい土砂の園庭への流入が発生しており、その防止と園舎の床下への流水防止のため、補正予算に止水壁や側溝を延長するなどの対策工事費を計上して対応することとしております。この対策により、園舎敷地及び第1運動場への土砂を含んだ流水の流れ込みが防止できるものと考えております。

第2運動場につきましては、第1運動場のような土砂の堆積はないようですが、職員駐車場へ

の土砂の流入があるようです。江尻ダムの下流にあるため、大雨が降ると、流水により山からの土砂の影響があるようです。江尻ダムの流末水路の整備については、県が令和3年度以降に本格的な工事着手を予定しているようですので、その状況を見ながら対応してまいりたいと考えております。

次に、全島の社会体育施設の利用状況についてでございますが、市内には、総合運動公園をはじめとして様々な体育施設があり、市民の皆様の趣味や体力づくり、サークル活動等に活用していただいております。その利用状況につきましては、施設の立地や地域の人口、活動グループ数により利用頻度に差が生じているようでございます。巖原、美津島地区においては、利用者が多くなっておりますが、利用団体間の調整により円滑な運営ができております。

今後におきましては、利用される皆様の利便性を保つため、運動公園などの主要な施設から遠い地区にお住まいの皆様には学校体育施設も社会体育の利用に開放しておりますので、お近くの施設の活用をお願いしたいと考えております。また、利用者の区分によっては減免の基準等も定めておりますので、積極的な利用をお願いするところです。

次に、利用状況を踏まえた施設の改善改修に向けた計画についてですが、議員御指摘のとおり、市内の体育文化施設は設置からかなりの年数を経過しているところが多く、老朽化の状況は否めません。雨漏りなどの不具合で市民の皆様には御不便をおかけしておりますが、その都度、部分修繕で対応しているところです。

大規模な改修になると、多額の経費を要するため、長期的な計画の必要性を感じております。現段階におきましては、部分的改修が可能な範囲で対応してはおりますが、市全体を見回した改修計画について、その方針の策定には至っておりません。しかしながら、公共施設等個別施設計画にも計上し、継続して検討していくこととしておりますので、今後できるだけ早い段階で市内地域のバランスや市民のニーズ、協議団体の意見を考慮しながら、統廃合も含めて、施設整備の方針を策定する必要があると考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 答弁が終わりましたので整理をしていきたいと思っております。

まず、市長のほうに、市民協働の取組についてでございます。

市長も先ほど答弁をされましたように、本当に地域によっていろいろな取組のしやすいところ、また、しにくいところ、これも地域間の格差が少し見えてきているようにあります。これは非常に高齢化、あるいは過疎化ということと、また、その公共性のない部分についてのマネージャー事業に対するその必要性、そういうものも考慮されて、その格差が出てきているんじゃないかなというふうには思いますが、先ほど坂本議員の質問の中にもありまして、市長も答えられました

が、やっぱり地域で取り組んでいくということが、一つのやっぱり基本でありますので、そこにマネージャーが地域、各校区にいらっしゃるんですが、なかなかこの仕事の合間といいますか、休みとかそういうときではないと手がとれないというような状況で今動いてあるんですが、やはりマネージャーさんも建設のほうに長けてある方、あるいは事業畑の方がおられる地域は非常に進んでいるんじゃないかなというふうに、これは私の考え方ですが、そういうふうな状況も見受けられます。

そこら辺も、マネージャーさんの考え方もありましょうけど、地域と一体となって、もう少しやれるところをやっていくように、これはサブマネージャーもありますよね、サブマネージャーの会議もあっているというふうに思いますので、そこら辺も地域に入っている職員の皆さんが、やはり事業畑と事務畑というのがあるでしょうから、そこら辺の違いが少し出てきているんじゃないかなというふうに、私も今考えているところですが、そこら辺を踏まえてやっていけば、もっともっと進むんじゃないかというふうに思います。

実績としては、年間、全島で300万から400万の実績が上がっております。非常に、今激甚化するこの大雨や台風、これに備えて地域が整備をされれば、もっともっと被害は少なくて済むんじゃないかなというふうに思いますし、またこの避難についてもそういうことから始まってくるんじゃないかなというふうに思いますので、この大事な事業であるし、また、私はこの島づくりの中で中核と今申し上げました、質問の中で申し上げましたが、本当にそうじゃないかなというふうに思います。

この事業が本当に地域と行政、我々もそうですが、一緒になってやっていくことで、この2期総合計画、島づくりの一番大きな計画ですが、その計画にも反映していきながらやっていけば、もっともっと進んでいく、そしてまた、国が出しております国土強靱化事業、これもやはりそここの地域で、ここは台風とか大雨になったら必ずやられるよねというようなところを見出すこともできるわけですから、やはりこれは一番大事なことじゃないかなというふうに思います。

そういうことも考慮しながら、その強靱化の計画も作り上げていかなければいけない。聞くところによりますと、強靱化はもう県の指標をそのままするような状況になっているんじゃないかなというふうに、私は見受けられますが、各地域の、やはり問題点を絞って、そして県に国に提案をすると、これがやっぱり一番大事じゃないかなというふうに思います。過疎化していくわけですが、そこら辺も一生懸命取り組んでいかなければいけないんじゃないかなというふうに思いますが、市長、どうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） なかなか難しい質問だというふうに受け止めておりますけども、まず、整理いたしまして、この各地域のほうに格差が、まず大きいのが問題じゃないかというような御

質問でございますが、冒頭答弁いたしましたとおりでございます。

そのような中で、地域マネージャーの職員も、かなりその地域に溶け込むように努力はしている状況でありますけども、その地域自体において、なかなか理解をしていただけない地域もあると。まして、その地域においては、我々は地域マネージャー制度は要らないよと言われるような地域もあるという報告を聞いております。このようなことについては、やはりそうであっても、できるだけこちらのほうからSDGsの目的もありますし、呼びかけながら、共に市民協働を前へ進められるように努めていきたいというふうに思っております。

なかなか言うより難しい問題ではあろうかとは思っておりますけども、この地域マネージャー制度については理解をしていただいて、一生懸命に取り組んでいただいている地域については、かなりの事業も進めておられますし、前へ前へと進んでいるところでございます。そういう中で、同じように、共に発展、活性化するように、柔軟な対応をとりながら、今後も地域マネージャー制度の継続に向けて進んでまいりたいというふうに考えているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 今言われましたとおりだろうというふうに思いますが、やはりこの地域マネージャー事業を年間に300から400、29年度は400、今は300万ちょっとぐらいの事業で全島でやっておられるわけですが、やはりこれが、一般公共事業として発注すれば、かなりの金額になります。だから、こういうことも含めて、予算の財政も厳しい折ですから、やはり地域と行政とマネージャーさんも入って一緒になってしていくのが、私はこれからの将来ある対馬になっていくんじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺も踏まえて、なぜ私がこの質問をしたかという、なかなか現市長、比田勝市長になってから、あまり出なかったもんですから、元市長のときには、この事業が一番メインだったんじゃないかなというふうに、私も、ずっと古くから議事録をめぐって見てみますと、そういうような感じが見受けられましたので質問をしたわけで、これを忘れることなく、やはり職員の皆さんも大変でしょうけど、一緒になって、地域と一緒にやっていく、これこそがやはり島づくりじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺は忘れることなく一生懸命取り組んでいただきたい。

そしてまた、地域の皆さんもこれに賛同して、一緒になって自分の地域をつくり上げていく、これが大事じゃないかなというふうに思いますので、そこら辺も踏まえて、一生懸命なる御努力をいただいて地域が活性化するようによろしく願いをしておきます。

1点目を終わります。

それでは、次に、教育行政についてお伺いをいたします。

先ほど教育長のほうから答弁がございました1点目でございます。対馬で初になることも園は、非常に建設が終わって開園したときには、すばらしい建物であったんですが、最近の豪雨によっ

て大きな被害が出ているというようなところも見受けられます。

先ほど教育長のほうから答弁ありました、山側に大型土のうを積んでやっているんだということでございます。非常にそういうことで、土砂が毎回、5回ですかね、28年度から5回の土砂の流入があったということで、保護者、あるいは職員、近隣の方々が一緒になってのけている、この写真が提示されているというふうに思いますが、こういうような感じで、私も5回は行っていませんが、3回は一緒に行って、現地に行ってやりました。非常に協力をしてくれる皆さん方は本当にありがたいなというふうに思ったところでございます。

先ほど、補正予算で186万円やったですかね、予算はついておりますが、その予算の使途として、私が言うまでもないんですが、今写真に出ています1ページ目ですね、そのフェンスの周りに土のうが積んでありますね、この土のうのところを止水壁、先ほど言われました止水壁ですね、土留め工、そこを民間とこの市有地の境界になるんでしょうけど、そこをかき上げすれば、その部分の対処はできるんじゃないかなというふうに思っております。

それと、この排水溝がすぐあるんですが、排出のところにも問題はあるかというふうに思いますが、あまりにも小さ過ぎる、少しの土砂で、ここは真砂土ですから、グラウンドですから真砂土敷いてあると思いますが、真砂土が流れ込んで、すぐ詰まるような、15センチぐらいの、内径15センチの側溝だというふうに思います。このことも少し考えをしていただいて、取り換える、ちょっと大きいものに取り換える、こどもたちも小さいですから、大きいものに取り換えて、やっぱりコンクリートむき出しということになれば、大変な事故にもなりますので、そこら辺も考慮しながら、こどもたちに優しい環境づくりでやっていただきたいなというふうに思っております。

これ側溝は15センチでは、本当に距離もありますし流れませんから、ここは替えて取水壁をすれば、もう園庭への流入はなくなるというふうに思います。そういうふうなことでやっていただきたい。

この、見てもらえば分かるんですが、2ページ目も見てもらってわかりますが、この土砂がきれいに片づけられないんですよ。真砂土と流入してきた土砂が一緒になって、もう片づけることができない状況ですので、やはりここも消毒とか、そういうものはきちんとしていかなければ使うことはできないんじゃないかなと思いますので、そこら辺も指導なり何なりをされて、消毒剤を配布したり、そういうものをきちんとして対処していただきたいなというふうに私は感じたところでございます。

ここは、そういうふうなことで、止水壁と側溝を扱えば対処できると、私のほうも、素人ですが思いますので、よろしく願いしておきます。そのトン袋、土のう袋、大きい土のう袋を積んであるんですが、そこら辺も、今、もういっぱいちょうどなっていますよ。1段でいっぱいにな

っていますので、それが2年でいっぱいになりますので、そうすれば、だんだんだんだん上へ積み上げていかなければいけない。下は古くなって土のうが破損する、そういうことの繰り返しになってはいけませんので、やはり思い切った予算で駐車場、市が買い求めた部分と山側との境界はあるんでしょから、そこにもきちんとしたものをしていかなければ、いつまでたっても、小さい金額ですが、それが積み重ねれば何千万もなりますので、そうすれば、もう工事ができるわけですから、そこら辺も計画を立てられてやっていかなければいけないんじゃないかなというふうに思います。

先ほど私が質問の中でありました道路の排水の問題ですね。道路には大きな排水が、今度1メートルか1メートル50ぐらいの大きな排水溝を県のほうで入れるということが決まったということに聞いております。だから、そこら辺が対処できますが、そこにできたからといって、山を止めなければ横にどンドンどンドン流れてたまるわけですから、たまったら坂本議員がさっき質問をしましたように、開けて取ることはできないわけですよ。もう人力ではできませんから、大きな側溝ですからね。そこら辺も考えれば、やはり山側に土留め工が要るんじゃないかな。これも相手がおることですから地主さんとの協議も必要となりましょうが、そこをやっぱりよくよく説明をされて、何としても、この土留め工をやっていかなければいけないんじゃないかなというふうに思っております。そこはどうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 私たちも今、議員から御指摘のように考えているところです。

まず、今年度、第一運動場、園庭への流水の流れ込み、これをまず防ごう、それを優先をして、その後に、あの山が非常に崩れやすい性質の山ですので私たちも苦慮しているわけですが、大型の土のうだけでは、いつまででもは持たないと思いますので、次の計画としては、議員御指摘のような方向で進みたいなというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） そのように教育長が考えてあるようにありますので、計画を進めていただきたいというふうに思います。

それでは、次に移ります。全島社会体育施設の利用状況について。利用状況は、非常にその町によって、町単位によって利用の人数は違いますが、一番多いのは、体育館で見えますと、厳原体育館が1万6,468人ですね、30年度。それから美津島が1万7,682人、美津島が一番多いんですが。次に、豊玉が7,652人、峰が7,773人、上県が2,835人、上対馬が6,467人というふうになっております。町単位で見えますと、人口の比率かなというふうにも思われますし、そのように広くこどもから高齢者まで使われているというところもあるんじゃないかなというふうに思います。

そこで、体育館について、ひとつ教育長にお尋ねをいたします。

この体育館も先ほど言いましたように、施設が各町に点在しております。その中で一番問題点が屋根、雨漏りですね。雨漏りが非常にしていないのが、今、峰のシャインドーム。峰のシャインドームは、何年か前に屋根を扱いましたので、それで今のところは雨漏りはしていないと。あとの施設については、大小なり雨漏りをしていますということで、やはり風向きとか大雨とか、そういうときに違ってくるというふうには思うんですが、やっぱり先ほど答弁にもありましたが、多少なりの修繕をしていきたいというようなことで、予算がないので修繕、修繕をしていくわけですが、修繕をしたところが接手がまた修繕、そこから漏れてくる、また修繕をしなければいけない。終わってしまったらまた最初からやり直し、そういうふうなやっぱり状況になってくると思うんですね。

それと、施設も老朽化してきます。ほとんど鉄骨ですから、結構耐震には強いとは思いますが、揺れもひどいと思います。揺れることで天井雨漏り、専門の方がいらっしゃいますが、そういうふうなところになってくるんじゃないかなというふうに思いますので、やっぱり先ほど申し上げましたように、中長期的な計画を立てられて、どこが一番利用価値があるのか、利用されているのか、これからも利用の増が見込めるのか、そういうところも精査されて、大々的に予算を使うところはここ、ここというふうな感じで扱っていただかなければ、もう9施設を全部一緒に扱うことは、まず無理ですからですね。そこら辺も住民の方も分かるというふうに思いますので、そこら辺も説明をよくしながら精査されて、雨漏りを直していかなければいけないんじゃないかなと思います。これも利用促進にもつながっていつているんじゃないかなと思うんですね。

体育館ということで「雨が降ったけ体育館で何か競技をしようか」、「いや、あそこ漏るよ」、「漏るなら行かれんな、されんな」、そういうふうになってきます。あとはまた、学校関係でも学校教育施設について使うところはありますが、なかなか子どもたちの教育施設の場を大人が使って、またしていくというのも、あまりにも社会体育施設というのがあるんですから、そこら辺の見極めをきちんとしておかないと、やはりできないんじゃないかなというふうに思いますので、教育長、今の体育館の雨漏りについて、全体育館が雨漏りをしていますので、そこら辺の先をどのように考えてあるのか、さっき答弁をされましたが。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 社会体育施設に限らず、学校体育施設も、体育館の雨漏りというのは、かなりあっております。全ての施設を一度には改修できませんので、雨漏りのひどいところから徐々に改修をしていっているところですよ。

先ほど答弁の中でも言いましたけれども、社会体育施設、体育館だけではなくて、例えば野球場にしても、旧町時代のまま現在も維持補修をやってきております。この体育施設が造られた時

代には、ある意味、今よりも若者が多くて、もっと社会体育、スポーツ関係も盛んでした。

しかし、今後の対馬市を考えたときに、若者は今も減少していておりますし、高齢化が進んでいくと思います。そういうことも見据えながら、いろんな社会体育施設等についての統廃合について検討してみなければいけないんじゃないかなというふうに考えております。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 教育長も私と同じような考えを持ってあるんじゃないかなというふうに思います。私もこの実績等見て、現地も回りますと、やはりそのような、今教育長が言われるように、町時代の造りであって、また、町のときには人口も多かったんで利用価値もあって、いろんなことができたんですが、今はそのような縮小もしていきながら計画を立てていくということですから、そこはそこでそのようにしていただければいいのかなというふうに思います。

運動公園の話もありました。今度、次に運動公園に行きます。

運動公園も、非常に多目的広場というのがある運動公園が多く利用されているわけでございます。巖原が14万473人、1万4,000ですね、1万4,473人、美津島が7,833人、豊玉が1万4,973人、峰が野球場と陸上競技場合わせて6,584人、上県がテニスコート、プールを含めて3,600人、上対馬の多目的広場が7,843人、テニスコートが2,577人というような状況でございます。これ、今私が報告をしました豊玉の野球場について、かなり利用されています。これは全島でのグランドゴルフ愛好者の全島大会等々があっているあれで、このように利用が増えているんじゃないかなというふうに思います。

そこで、非常に、先ほども朝一番の質問にもありましたように、大部議員の質問にありましたトイレ、ここではトイレの問題が出てきます。やはりトイレが非常に詰まったりとか、あるいは使いづらかったりとか、そういうのが各利用者のほうから苦情なり要望なり出ております。そういうところも踏まえて、まだまだ検討して、利用者のニーズにこたえられるような施設にしたい。これも予算が絡むことですから、なかなか先に進まないんでしょうが、そこら辺をきちんと、やはり職員でも行って、どのような状況でどうなっているのかというような状況も見てもらって、各センターがありましようから、そこら辺でやっぱりみんなで協議をしながらやっていく必要もあるんじゃないかなというふうに思います。

やはり各センターには、利用の申し込みも行かれるわけですから、その人方が何かは言われるんですよ。あそこのフェンスと壊れとったよ、あそこのトイレの扉が閉まらんよとか、そういうのをやっぱり集約して、そして全体協議をしていくというようにならないと、予算が小さくて済む事業も、もう膨らんでしまいますよ。長く置いとったら風で扉をあおって壊れる、破損する、そういうような状況も出てきますので、そこら辺をよく精査をされて、協議を十分された上でやっていって、利用者のニーズにこたえていただきたいというように、せつかくの施設ですから、

そこら辺はもっともっと協議をされてやっていくべきじゃなからうかなというふうに思います。

中長期的な計画ということで、先ほど答弁がございました。まだそこまでは至っておりませんということでございます。教育長にしてみれば、大変、教育施設から体育施設、非常に大きな建物、あるいは住民の皆さんに利用していただけるこの施設を管理運営をしていくわけですから、大変厳しいところはあるでしょうけど、やはり先ほど言いましたように、各センターで窓口、あるいは管理をしているわけですから、そこと実際に協議をいろいろしながら、「悪いところどっかないね」、「どっか何か苦情はなかったね」、そういうようなことをきちんと協議をしてもらえば、おのずと分かってくるし、ああ、あの人が言うてあるということも、そのセンターがありますから分かるわけですから、やはりそういうところはきちんと今から計画を立てて、改修なり修繕なりをしていただきたいと思います。

私の地元の上対馬浜久須にある運動公園に少し入りますが、この運動公園は、野球場が、ベンチのフェンスがもう腐食して壊れておりました。やっと昨日ですかね、昨日、きれいに取り付いております。本当に、非常にありがたいことでございます。

しかしながら、その観覧席の上は鉄骨でございますので、非常に老朽化もあろうし、また、塗装がもう赤さびが多いような感じでございます。もともとは緑色の鉄柱でしたが、鉄柱、屋根、結構鉄骨の本数はありますが、それがほとんど赤さびで赤色になっている状況でございます。これがやっぱり全体の教育施設、体育施設、そういうところで見ますと、やはり、「うわあ、何もしてないっちゃな」というようなところになってきますので、我々もそうですし、やっぱり行政側も一緒のようなことも言われますので、やはりそこはそこで我々もカバーはしますけど、カバーがし切れない部分が、住民の皆さんが目に見えて言われるところはカバーできませんので、そこら辺も十分に注意をされながらやっていただかなければ、いい対馬の教育にはなりませんので、そこら辺を十分踏まえた上で今後も検討していただきたいと思いますというふうに思います。

それから、浜久須の運動公園は、ちょっと公園から上に行くと、またもう一つ公園があります。遊具がついた公園なんです。非常に今は利用価値は、もうほとんどあってません。最近、補修で遊具の補修があったような気がいたしております。私はそこには上っていませんけど、あったようにあります。そこはパークゴルフとか遊具とか、トイレもありますけど、トイレはもう使用禁止ということになっております。それでも、それはそれでいいんじゃないかなというふうに思いますので、そこでなぜトイレが使われないのということを窓口で聞かれたときに、その説明ができるようにしとかなないと、また苦情が我々に来るんですよね。だから、同じようなことの繰り返しですから、そこをやっぱりきちんと連携をとっていただきたいと思いますというふうに思っております。

そこも遊具の腐食とか、あるいはロープの切れとか、そういうものを今直したというようには

聞いております。しかし、そこで遊ぶ子どもたち、幼児、幼稚園児、あるいは小学生が、土日連休あたりに遊ぶんじゃないかなと思いますが、やはりそこは少し山で、小高い山ですので、鹿とかそういうものが入ってきている。鹿が遊ぶところじゃないんですけど、鹿が入ってきていますので、そこをきちんと閉鎖しなければ、子どもたちもそこに寝そべることができない、芝生があっても、そこに座ることもできない、遊具で遊んで尻餅もつけないようなところになっているんじゃないかなというふうに思います。糞が多いというふうにも聞きますので、そこら辺も対処できるなら対処する、そして、もうそこはあまりにも予算がかかり過ぎて利用価値がないんだということであれば閉めればいいんですから。そういうようなことも計画的に、地域のセンターとよく話されてやっていくことも大事じゃないかなというふうに思います。

その利用しないところを、いつまでたっても置いておく必要はないんですから、利用はないんですから。だから、そこら辺をきちんと煮詰めて、計画を立てて、外すところは外す、きれいに扱うところはきれいに扱う、新規でいるところは新規でやっていくというよなきちんとしたものを、ぴしゃっとした姿勢を見せていただかなければ、住民の皆さんも非常に悪いよねということになりますので、やはりそこは、きちんと今後、精査されて取り組んでいただきたいというふうに思います。

そういうことで、これは久田の総合運動公園も鹿が侵入をしているというような話も聞いていますので、そこら辺もグラウンドゴルフの愛好者の皆さんが片づけはしてあるということですが、そこら辺も、どこから入っているのか、どうしたらいいのかということも、きちんとこの生涯センターと話をされて、できるものならしていく、そういうものに、ちょこっとなら、愛好者の皆さんに、地域マネージャー事業でどうでしょうかとか、そういうものもやっていけるわけですから、そこら辺も踏まえられて、もっともっと利活用ができるように、そしてまた、安くて修繕修理ができるように取り組んでいかなければいけないというふうに思いますので、今後、その体育施設、教育施設についても、また教育施設は、今度の台風第9号、第10号で大きく屋根もやられて、何億もかかるようなところもございます。非常に大きな災害が今からやってくるわけですから、そこら辺の心構えと準備もきちんとしておかなければ、大きな災害につながってマイナス要因になりますので、そこら辺もきちんと各センターの意見を聞きながらやっていただきたいというふうに思います。

では、以上で私の質問は終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで春田新一君の質問は終わりました。

---

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。明日も定刻より引き続き一般質問を行います。